

．．．．．スマートにプログラミング

Android 入門編 第3版 SDK4.x 対応

本書の補足サイト

ここでは、読者の皆様から寄せられた質問の中で、比較的多く見受けられたトラブル事例とその解決策や書籍刊行後の更新情報等を集め掲載致しました。
お困りの際の解決のヒントとしてご利用下さい。

株式会社リックテレコム
書籍出版部
(情報更新日：2014.4.22)

index

●ソースコードのインポートについて

(関連箇所：書籍全体) 情報提供：2014/4/22

●Macintosh における JDK の取り扱いの変更について

(関連箇所：「2-4 Android 仮想デバイスの設定」 情報提供：2013/7/11

●「Google APIs」が見あたらない。

(関連箇所：「2-3 SDK コンポーネントの追加」 情報提供：2013/7/10

●掲載内容の誤記等について

下記の URL のサイトをご参照下さい。

<http://www.ric.co.jp/book/error/error895.html>

この他にも、本書の著者が所属する Tech Fun 社のサイトに、プログラミング環境を構築するにあたって、初心者が陥りやすい様々なケースに対し丁寧にアドバイスをしたコーナーがあります。

<http://techfun.cc/techinf/setup/android>

環境構築にあたってわからない所が出てきたら、こちらの方も参照してみてください。

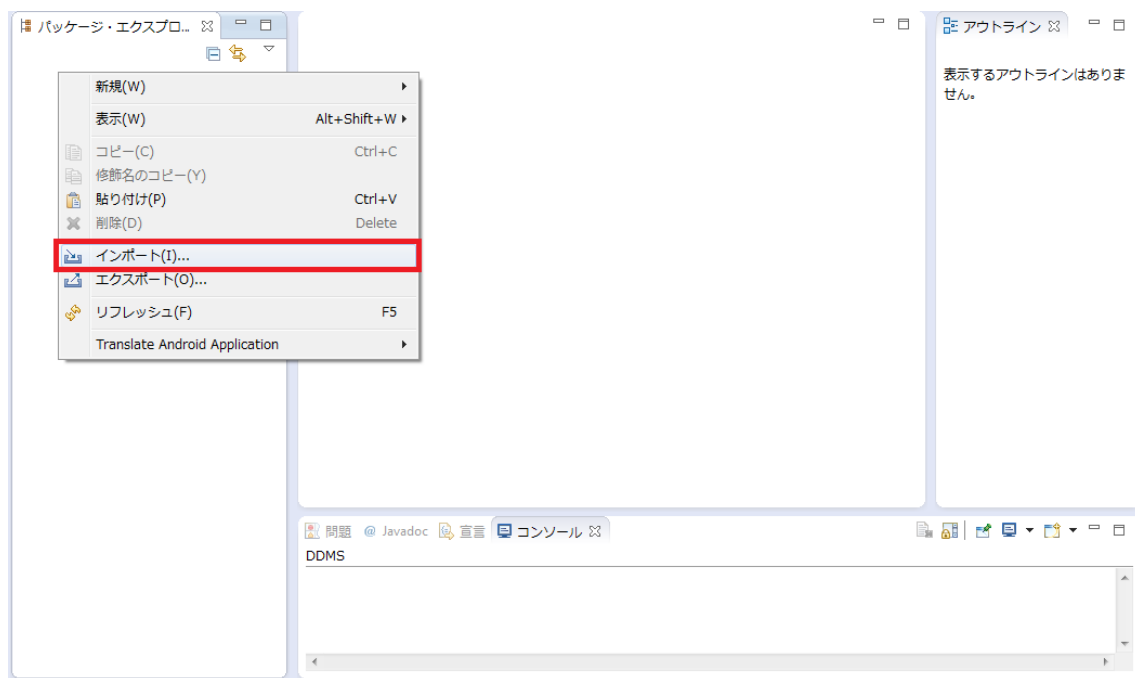
ソースコードのインポートについて

●正規のインポート手順

本書のサンプルソースコードは、ダウンロードの上ご利用することは可能です。そしてソースコードを Eclipse にインポートする際には、下記の手順で行うようにして下さい。なお、誤った操作手順については[こちら](#)を参照下さい。

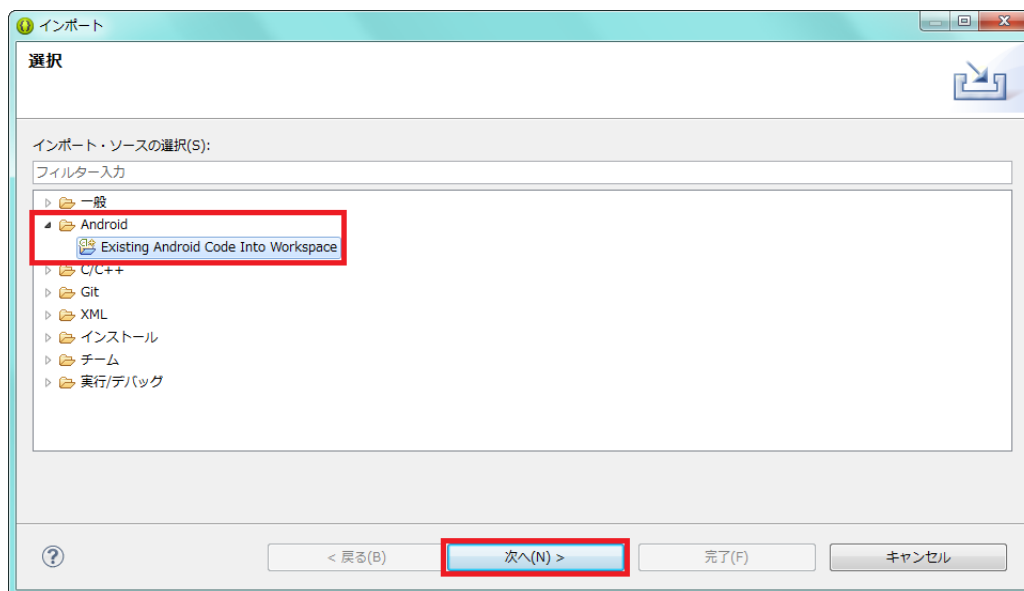
1. パッケージ・エクスプローラー上を右クリックし、「インポート」を選択します（図 1）。

図 1



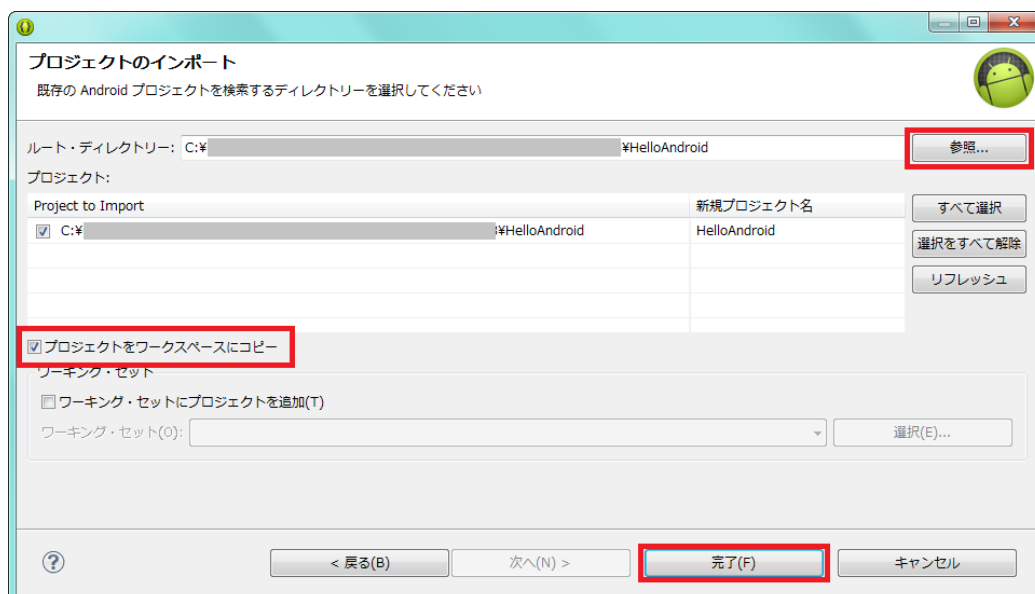
2. インポート画面で、「Android」→「Existing Android Code Into Workspace」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします（図 2）。

図 2



3. プロジェクトのインポート画面で、「ルート・ディレクトリー」の「参照」ボタンでインポート対象のプロジェクトファイルを選択し、「プロジェクトをワークスペースにコピー」のチェックボックスにチェックし、「完了」ボタンをクリックします（図 3）。これでソースコードは正常にインポートされます。

図 3

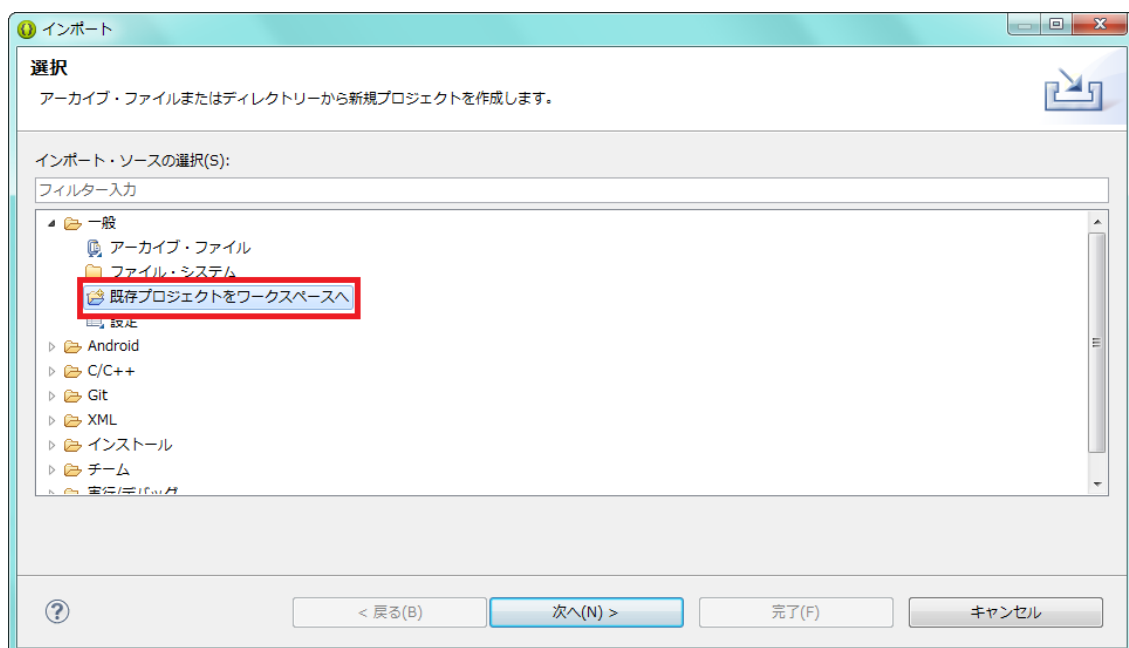


●誤った操作手順

こちらの手順は、**通常の Java のプロジェクト（Android ではないプロジェクト）をインポートするときの操作**となります。既に Java で Android 以外のアプリを作成したことがある人が陥りやすい手順です。ご注意ください。なお、この方法でインポートしてしまった場合の対応策は、[こちら](#)になります。

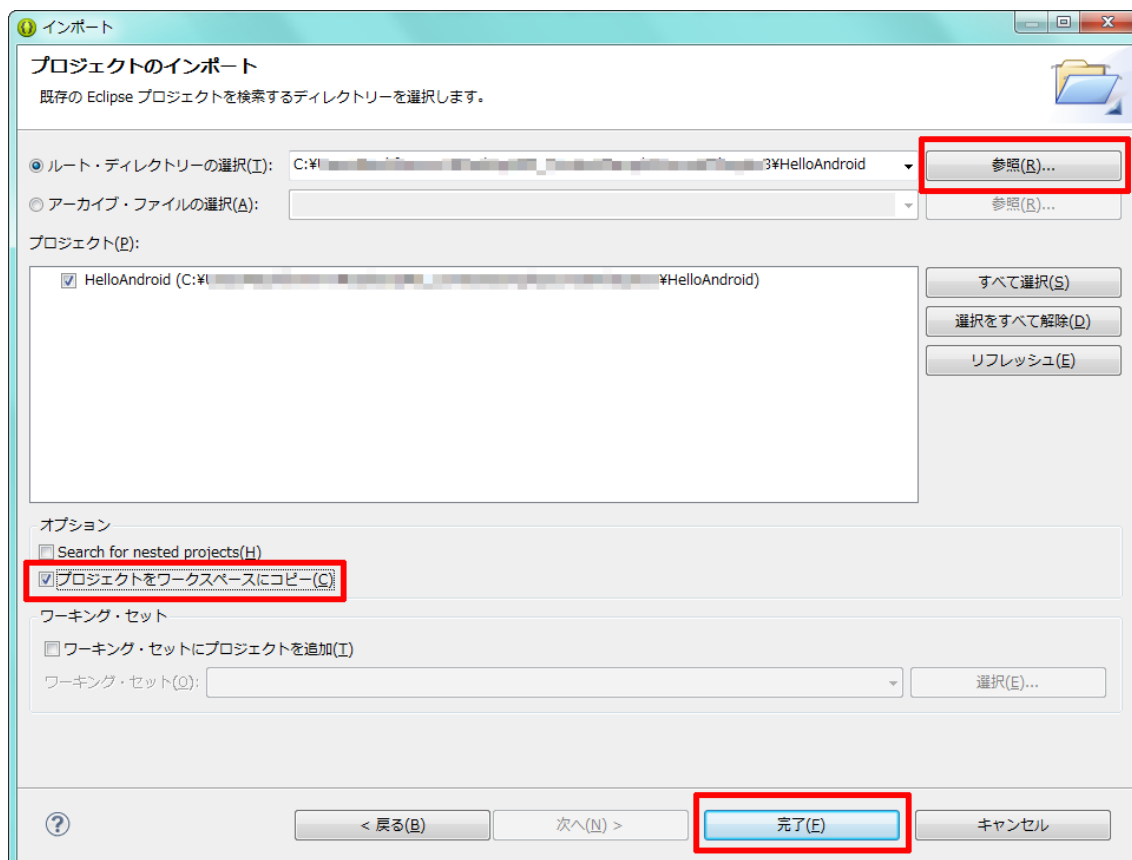
1. パッケージ・エクスプローラー上を右クリックし、「インポート」を選択します（ここまでは正規の手順と同じ）。
2. インポート画面で、「一般」→「既存プロジェクトをワークスペースへ」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします（図 4）。

図 4



3. プロジェクトのインポート画面で、「ルート・ディレクトリー」の「参照」ボタンでインポート対象のプロジェクトファイルを選択し、「プロジェクトをワークスペースにコピー」のチェックボックスにチェックし、「完了」ボタンをクリックします（図 5）。

図 5

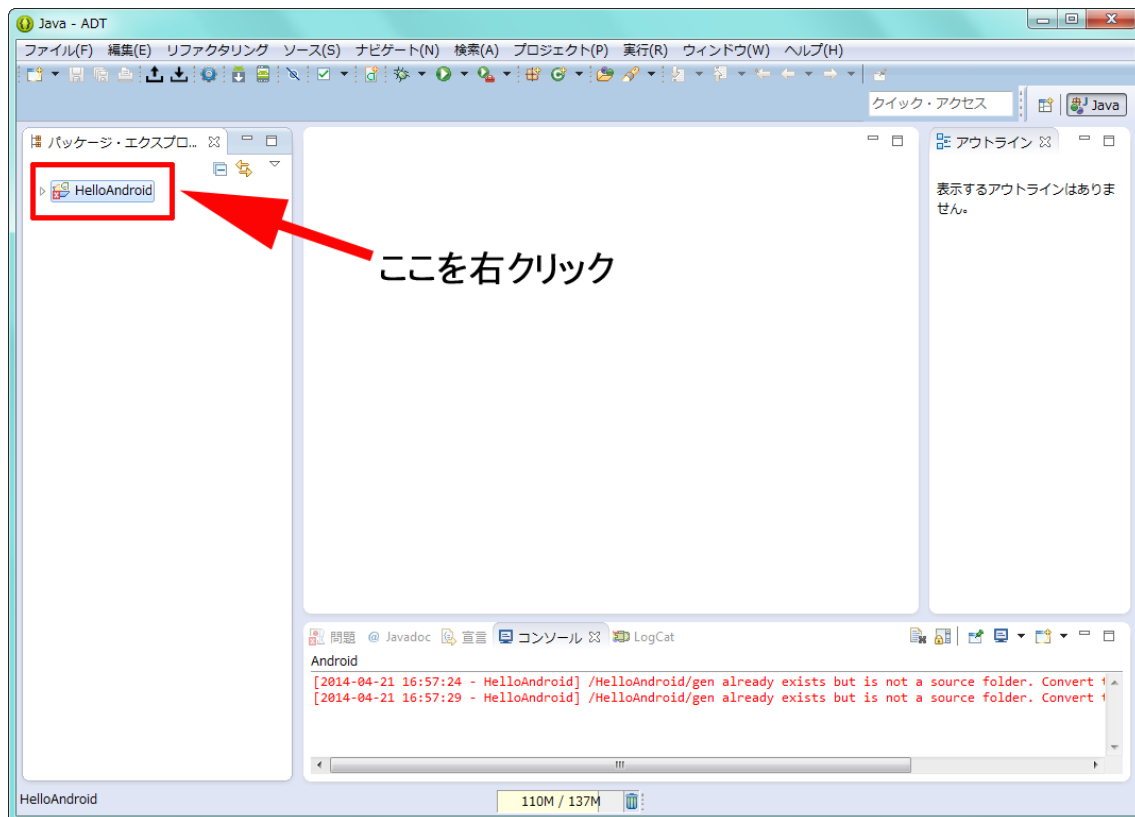


この手順でインポートをしてしまうと、src フォルダと gen フォルダの設定が外れてしまい、エラーが発生してしまいます。この手順でインポートした場合の回避するためには、次の追加操作が必要になります。

[追加操作]

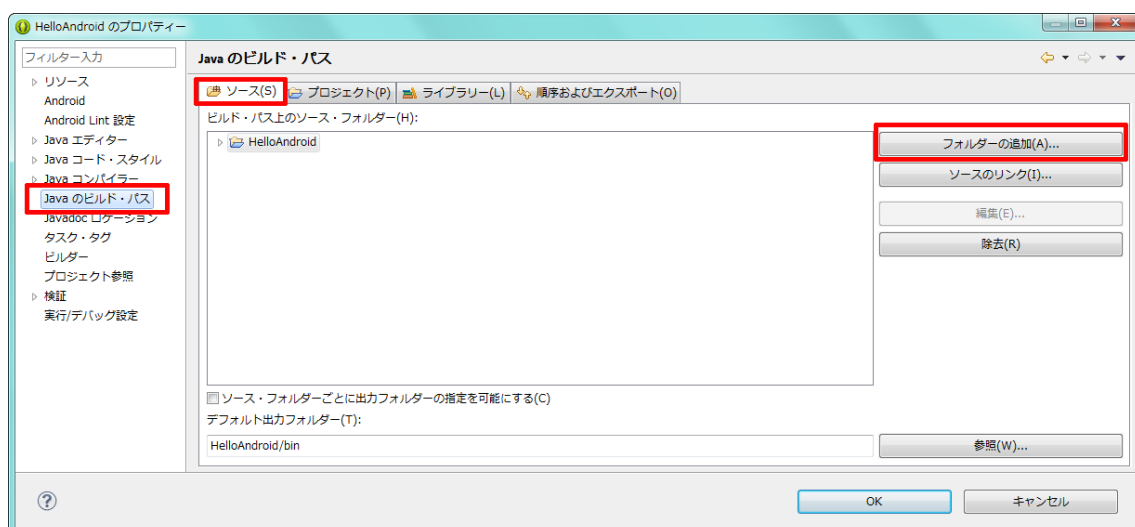
1. プロジェクトをインポートした後、プロジェクトの上を右クリックして、「プロパティー」を選択します（図 6）。

図 6



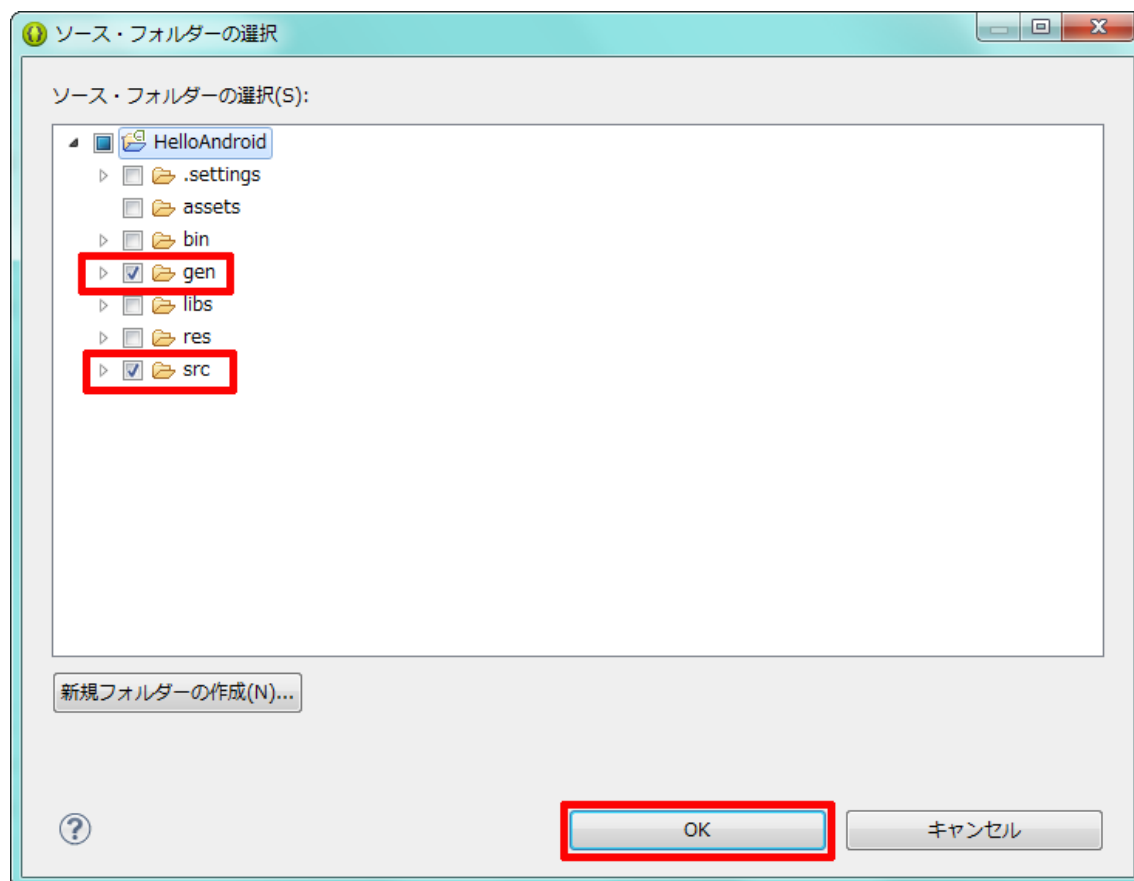
2. プロパティの設定画面で、「Java のビルドパス」を選択し、「ソース」タブを選択し、「フォルダーの追加」をクリックします（図 7）。

図 7



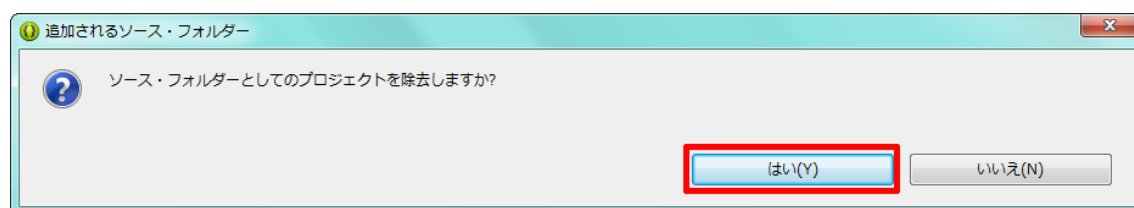
3. ソースフォルダーの選択画面で、「gen」と「src」のチェックボックスにチェックをつけて、「OK」をクリックします（図8）。

図 8



4. 確認画面が表示されるため「はい」をクリックします（図9）。

図 9



以上の手順を追加することにより、本書のサンプルソースは問題なく動作します。

[\[目次\] に戻る。](#)

Macintosh における JDK の取り扱いの変更について

(※本情報については、第 1 刷の読者の方のみご覧下さい。)

44 頁の「Note : Mac と Linux での開発環境の構築」に

なお Mac の場合、Mac OS X v10.6 Snow Leopard 以降のものであれば、JDK があらかじめインストールされています。「Finder」から「アプリケーション」→「ユーティリティ」→「Java」→「Java Preferences.app」で「Java Preferences」というソフトウェアを起動し、(後略)

という表記がありますが、2012 年 10 月 Apple より、Java Preferences アプリケーションが OS より削除されることが発表されました。

http://support.apple.com/kb/HT5493?viewlocale=ja_JP&locale=ja_JP

[システム環境設定]→[java]と操作することにより、自らの Mac OS に Java が入っているかどうかを確認した上で、必要に応じてインストールすることになります。

特に Java 7 以降は 下記 Oracle のサイトから Java をインストールする必要があります。

<http://www.oracle.com/technetwork/java/javase/downloads/index.html>

[\[目次\] に戻る。](#)

「Google APIs」が見あたらない。

[トラブル事例]

Chapter2 の SDK コンポーネントの追加について。SDK Manager.exe から「Android SDK Manager」のコンポーネント一覧が表示されたが本書で記載されている「Google APIs」が SDK コンポーネント一覧に表示されない。

Preferences の Android を確認しても「Google APIs」はなく、表示されているのは「Android4.2.2」のみです。

このような場合「Google APIs」を追加するにはどうすれば良いか？

(関連箇所：「2-3 SDK コンポーネントの追加」)

[回答]

Android 4.2.2 以外選択できないのは、マシン側の問題ではなく、ネットワーク環境に問題がある可能性があります。

セキュリティチェックが厳しい企業のイントラネット等のネットワーク環境でセットアップしている場合、プロキシサーバを経由している場合などは、インストールできないことがあります。

プロキシ経由の場合は、SDK Manager に設定を追加する必要があります。下記のサイトにその方法が詳しく掲載されておりますので、ご参照下さい。

(ブログ「いいね！Android アプリ」より)

<http://papakingyo-android.blogspot.jp/2011/11/android-sdkavd.html>

[\[目次\] に戻る。](#)